

県外避難者への対応及び基金の活用状況のフォローアップ等		施策番号009
福島復興再生基本方針における該当箇所		府省庁名
頁	43	環境省
章	第3	
節	2	作成年月
項	(2)	平成25年5月
目	①	

予算措置の状況

【平成23年度(第2次補正)】

・原子力被災者・子ども健康基金 78,200百万円【エネルギー特会】

施策の内容

○福島県は、国が平成23年度第二次補正により拠出した「福島県民健康管理基金」を活用し、ホールボディカウンタによる県民の内部被ばく検査を進めている。

○また、異なるバックグラウンド線量の地域や異なるメーカーのホールボディカウンターであっても、十分な信頼性のもと線量推計が行われ、データ間比較ができるようにホールボディカウンターの校正等について調査研究を行うとともに、安心・リスクコミュニケーション事業等の中で専門家による放射線の健康に与える影響等の説明なども行っているところ。

施策の進捗状況及び今後の予定

○平成25年2月末までにホールボディカウンターにより約11.9万人の内部被ばく検査を行い、99.9%以上の方が1mSv未満であった。平成25年度末までに、県内の18歳未満の方及び妊婦に対して検査を行う予定。

○なお、県外については、現時点では、新潟県、青森県、広島県、長崎県に避難された方は、受診することが可能な体制を整備したところ。(※栃木県においては、移動式WBCを用いて平成25年3月(約1週間)に検査を実施)